

# 施 工 仕 様 例

## 新設その1・新設面重防食

工程	材料名	塗回数	塗装法	塗布量 g m <sup>2</sup> /回	塗膜厚 Dry/μ	塗重時間 20		備 考
						Min	Max	
素地調整	第1種ケレン(SIS Sa 2.5)を実施する。  ブラスト処理をして、直ちにECPグレーの処理が出来ない場合、ジंकリッチプライマー処理をして鉄工所に搬入後、下塗りを行う。							
下塗	サビロック ECPグレー	1	エアレス	240	50	5	フリ	原液均一塗布。
			刷毛	180				
中塗 1	サビロック ECPグレー HB	1	エアレス	300	80	24	フリ	原液均一塗布。
			刷毛	230				
中塗 2	サビロック EL-200	1	エアレス	200	40	24	フリ	専用シンナー 10%希釈。均一塗布。
			刷毛	150				
上塗	サビロック トップコート U 指定色	1	エアレス	180	30	-	-	専用5%希釈 均一塗布。
			刷毛	140				

下塗り後の損傷部等は、中塗り前に十分な素地調整後ECPグレーにて補修塗りを実施する。  
(塗布量別途)

上記の補修塗りの他、溶接線、エッジ部、添接板、ボルト・ナット部等、補強塗りが必要な部位を中塗りのECPグレー・HBでタッチアップ及び増し塗りを実施する。(塗布量別途)

2液硬化型の材料を小分けして使用する場合は、必ず台秤を用い、可使時間以内に使いきれ

る料を所定の配合比(重量)で計量し、入念に攪拌・調合して使用する。

セット単位で調合する場合でも、硬化剤が缶内に残らないよう全量取り切る。

その他、カタログ・技術資料等を熟読して充分理解した上で、使用する。